

登壇ニ就テ會通升妻吉田君三郎、夫以吉田縣議、會通、登壇、
用其一、正途ニ歸同盟東京聯合會ヨリ日盛新聞記者ヨリ、
和ミリ升妻新聞記者八四郎、大谷金三郎、吉田君一、
共ニ東京聯合會、應對スル、日盛新聞記者、
登壇ニ就テ三日五午マテ回答ナキトシ、
東京聯合會、
東京聯合會、

正本年篇ニ關シテ謝罪書ヲ出シ、
謝罪書ノ聯合見報命ヲ謝ル

三至脚工ニ對シテ待接二回ノ慰安會ヲ行ハシ

二職工年常駐家スル事

一賃金二職工トシテ行ハシ

要末書

直貫船マテ論議結束モ聞スル旨モ申合サリ

盟議業ノ場ニ出ル旨モ書クモキ、同對面モ二職工大會ヲ出サリ

中ノ三、四項ヲ承認シテ、三項ハ絶對ニ不可トシ、其代リトシテ争
議開始當日ヨリ解決日迄ニ一日一圓五錢宛ヲ支給シ更ニ日給五分
値上ゲヲ行フ事ヲ誓ヒ、據リテ要求書ヲ撤回セラレタシト勸告シ
タノニ對シ、職工側ガ一應全職工ト協議スル必要アリトシテ其儘
會見ヲ打チ切り引揚ゲタガ、其際會社側ノ古庄利助ハ、自分個人
トシテノ案ヲ示シタ事ナレバコレヲ容レナイ場合又最初カラノ交
渉状態ニ歸ルモノナル事ヲ認メラレタシ、ト告ゲ置キタリ。
越エテ八日午前十時ヨリ前日同様ノ代表者ニ京都聯合會ヨリ佐々
木龍太郎附添へ會社ノ工場（市外西院村）ニ於テ工場長堀稻四郎
ト會見、數刻ノ協議テ漸ク左ノ妥協案ヲ作成シ、之ヲ兩者共ニ認
メルコトニ決メテ午后四時會見ヲ終ル、據リテ争議ヲ常田限リ圓
滿ニ解決ス。

解決案

一、職工ニ對シ春秋二回ノ慰安會ヲ催ス事